

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	①ハザードマップで水害のリスクが高い地区となっている為、昨年の自主避難の経験を踏まえた避難計画の見直しが必要である。 ②自然災害時に限らず、火災が発生した際等にも、地域住民から協力体制を得られる確約が無く、入居者の安全確保が不安である。	①BCPを整え、訓練を行う。 ②自助の観点から、火災や自然災害発生時に、速やかに避難できるよう、日頃から入居者のADL維持確保に努める。 ③緊急時の避難の際に、地域住民とのより強固な協力体制が構築できるように努める。	①自然災害・感染症のBCPを整え、訓練を行う。 ②神社参詣、散歩、コンビニへの買い物等外出の機会を多くし、継続的に入居者のADLが保持できるよう、筋力づくりにも取り組む。それらを続ける事で、入居者・職員が、地域住民と顔なじみになればと考える。 ③町会の役員会に出席する機会を頂けるよう、町会長に打診・依頼をする。その後の三役会で、ホームの現状を伝え、理解を頂き、更に次回の避難訓練への立ち合いをして頂いて徐々に協力体制構築へと繋げられればと考える。	12か月
2					か月
3					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。